

令和元年12月17日

恵庭市公営企業
恵庭市長 原田 裕 様

恵庭市公営企業経営審議会
会長 宇野 二郎



恵庭市水道ビジョン及び恵庭市水道事業経営戦略の改定について（答申）

令和元年8月6日付で諮問のありました「恵庭市水道ビジョン及び恵庭市水道事業経営戦略の改定」について、下記のとおり答申いたします。

記

当審議会では、専門的な知見や消費者の視点のもと、慎重に審議を重ねてまいりました。

恵庭市の水道事業を取り巻く環境は、全国の水道事業体が抱える課題と同様に、人口減少による給水収益の減少や、施設の更新・耐震化のための投資費用の増大などにより年々厳しさを増していくものと見込まれます。また、近年顕著化している自然災害への備えについても今後は整備が求められております。

別添の「恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）～安全・安心な水を未来まで～」は、協議の過程において、各委員が提案した意見等を反映し、今後10年間で目指すべき将来像を展望し、具体的な施策を示した「水道ビジョン」と財政計画である「経営戦略」を合わせた内容としています。この「恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）」では、これまでの基本理念「市民のための水道は、清浄にして豊富低廉な水の供給を図る」を継続し、基本理念を実現するために、「安全」「強靱」「持続」の3つの観点から、施設や事業運営における現状の課題と解決のための実現方策を体系的にわかりやすく整理しています。また、投資計画は管路更新計画を踏まえた計画的かつ効率的なものであり、財源計画はできる限り起債をおさえて健全経営を継続できるようにバランスを考慮しており、その内容は妥当であると判断します。

恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）に掲げる施策を展開するにあたっては、年1回のフォローアップをとおして情勢の変化に柔軟に対応されるとともに、より一層の経営効率化に努め、市民のご理解とご協力を得ながら、積極的に計画内容の実現を図られるよう要望いたします。

答申事項「恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略（案）～安全・安心な水を未来まで～」（別添）